２０１４年２月 13 日

鳥取市長　竹内功　様

日本共産党鳥取市議会議員団
団　長　　角谷敏男

市政要望の申し入れについて

日頃の市政発展へのご尽力に敬意を表します
さて、昨年末に２６年度の会派要望を提出したところでありますが、その後市民からの要望などが寄せられています。
つきましては、市民福祉の向上と環境整備など下記のとおり市民の要望について、実態などを検討され、ぜひ前向きに対処されるように要請いたします。

（くらし・税金）

①徴収強化が進められているが、人権無視の差し押さえは許されない。差し押さえ禁止財産の差し押さえ実態調査をおこない、公表すること。
（説明：県が児童手当差し押さえ訴訟で敗訴し、昨年１２月議会では違法とされた点について、担当部長が「しっかりと市町村とも共有させていただく」と答弁している）

②後期高齢者医療制度の保険料引き上げはおこなわないように広域連合に求めること。
（説明:4 月からの保険料が東京都では平均 4,118 円／年の増、千葉県では 1,064 円／年の増などと値上げを決めたところがある。年金削減と消費税増税に加えて保険料が上がれば、高齢者の生活は困難になり、命にもかかわる）

（子育て）

③風疹ワクチン接種助成を妊娠している夫以外にも拡大すること。事業所ごとの接種や啓発に力を入れること。市職員の接種に助成すること。
（説明：妊婦の夫だけがワクチン接種しても感染は防げない。職場での感染も想定され、対象を拡大する必要がある）

④保育所の 3 歳以上児にも完全給食（米飯給食）をおこなうこと。
（説明：食育のために温かいご飯を提供することは大切であること）

⑤賃貸住宅に入居する若年世帯（どちらかが４０歳以下）に対して、月１万程度を一定期間、補助すること。
（説明：先進地では、一定の成果をあげている。また近年の空き家対策の増加抑制にも資する）

健康・予防

⑥保健予防活動について、特定健診、がん検診など医療機関委託を含めて、休日検診の拡大とともに、夕方・夜間の健診もおこなうこと。
（説明：市民の命を守り、医療費抑制のために、啓発強化とともに健診の機会を増やす）

住宅（福祉）

⑦就労意欲をもちながら、所持金もなく住まいが確保できない未就労者のホームレス状態の方に対して、生活保護の申請から決定までの間、住宅と安心を保障するために、市が緊急避難的に市営住宅を提供すること。
（説明：市民団体が事務所を一時的に提供して支援をしていますが、最低生活の保障は行政の責任であり、たくさんの空き家の一つを一時的に提供は出来る）

⑧定住促進のために、公社が所有する鹿野・青谷の住宅団地に対し、土地・住宅取得への補助金制度をつくること。既存住宅の改築への補助もおこなうこと。（説明：先進地ではおこない、一定の実績をあげている）

障がい者福祉

⑨公民館のバリアフリー化のために、入口の段差解消や２階への移動のためのエレベーター・昇降機の設置をすること。
（説明：利用する人が少ないのですすまないのかと、市民として公平公正な行政を求めている）

⑩手話言語条例制定の趣旨をふまえ、「だれでも どこでも どんな時でも」が通訳保障できるようにすること。また手話通訳者を正採用とし、その数を増やすこと。従前の市登録手話通訳者は、県条例の趣旨を具体化する観点から活用すること。
（説明：国の通訳士及び県の通訳者は、本人の意思を考慮して経験・技術を生かすこと）

（まちづくり）

⑪地元町内から要望が出されている鳥取温泉碑の移設保存は、歴史の継承とまちづくりのために、共同設置者としてリーダーシップをとり、関係団体とともに速やかに協議をおこなうこと。

（説明：地元自治会からは市の対応の不満の声があり、市民との協働のまちづくりはほど遠いと不信感も出ている）

⑫冨桑地区内に１００円バスの運行をすること。

（説明：西品治地域にはバス路線がない、片原通りを運行するバスもかなり減便されている。高齢者が多く通院や買い物に不便をしている）

⑬雁金山の平和塔は観光対策に位置付けられましたが、それにふさわしい山道の整備と広報をすすめること。

（説明：現状は、急峻な坂道や木製の階段の老朽化など、安全に歩ける状態ではないこと）

道路・生活環境

⑭通学路の安全確保のために、湖山２丁目の水路にコンクリート盤が設置されましたが、安全性を高めるために、反対側の側溝にも設置すること。

（説明：歩行者の安全と凍結時の事故防止のための措置が必要です）

地域審議会

⑮地域審議会のメンバーを増やし、公募を半分程度にすること。費用弁償として交通費程度にとどめること。

（説明：予算措置や事業に対する多様なニーズと意見が反映し、議論が深まり、市民の参画と協働の強化につながること。）

（以上）